

衆議院議員

階 猛 様・高橋 比奈子 様

黄川田 徹 様・畑 浩治 様・鈴木 俊一 様 橋本 英教 様 藤原 崇 様

参議院議員

主濱 了 様 藤原 良信 様 平野 達男 様

岩手県生活協同組合連合会

会長理事 加藤 善正

岩手県消費者団体連絡協議会

会長 高橋 克公

(公印省略)

灯油に関する要請書

貴職におかれましてはご清栄のことと拝察申し上げます。

日頃より生活協同組合や消費者団体の活動にご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今私たちは暖房として必要不可欠な「灯油」の高値に苦しんでいます。原油価格は現在 105～110 ドルで推移し、灯油の小売配達価格は 1 缶 1672 円（12 月 17 日調査）となっています。年明けにはもっと値上げされる見込みであり、1 缶 1800 円近くするような価格は 2008 年の異常時以外はなかったことです。

しかも、原油上昇に比べで灯油価格だけが極端に値上げされています。同じ石油製品にも関わらず、10 当たりの灯油の単価はガソリンに比べ現在 6 円以上高くなっています。なぜ、需要期になると灯油だけが大幅に値上げされるのでしょうか。不景気や低燃料車の普及でガソリン供給が伸びないつけを、灯油にかぶせているとしか思えません。石油業界が一部のグループに集約され寡占化が進みすぎた結果、業界主導の価格になっているのでしょうか。

供給量についても心配です。12 月 8 日現在の灯油在庫は、過去最低だった 2010 年を下回っています。低在庫を理由にさらに値上げがされやすくなります。全国では毎年 1 千箇所ペースで給油所が減り、過疎地や被災地での給油所不足も深刻になっています。燃料は、食料に次ぐ生命線です。東日本大震災のときのような悪夢を二度と起こさず、地方や被災地が取り残されることがないようにするためには、石油業界まかせ、市場原理まかせだけにせず、行政による安定供給に向けた役割の発揮や、不透明な値上げへの規制が必要だと考えます。

東日本大震災の影響や不況で、県民の暮らしや地域経済はますます苦しくなっています。ましてや被災地にとって、高額な灯油価格は家計を一層圧迫します。寒さが厳しくなれば、節約するにも限度があります。経済的弱者や被災者のために、岩手県が沿岸 12 市町村への「福祉灯油」補助を今年度も実施することはせめてもの救いですが、福祉灯油対象外の多くの県民、事業者にとっては、毎年毎年 180 1 缶 1600 円を超える灯油を買わざるを得ないことは本当に苦しく、政府が原油や灯油高騰への根本的な対策を講じない限り、救われません。岩手県民の困窮を目の当たりにして、市場原理に任せる対応では困ります。つきましては、県民の生活を守るために、国会議員の皆様以下についてお願いいたします。

記

1. 異常な灯油価格の是正のために石油元売会社の価格の監視を強化してください。特に、灯油価格独歩高の異常さについては、経済産業省やエネルギー庁から原因について説明を求めるなどして、灯油という「必需品」が他油種より高くされる状況を改めさせてください。
低在庫をテコにした値上げ、原油高騰や円安に便乗した灯油の値上げをしないよう強力に指導してください。